

授業の概要／Course description

科目基礎情報／Course information	
開講元学部／Faculty	外国語学部／FACULTY OF FOREIGN STUDIES
開講元学科／Department	
登録コード／Registration Code	FES75600
期間／Period	2025年度／Academic Year 秋学期／AUTUMN
学期／Semester	秋学期／AUTUMN
曜限／Period	金／Fri 3
教室／Classroom	金3 :6-201 /6-201
科目名／Course title	世界の中のアメリカ史／GLOBAL APPROACHES TO US HISTORY
授業形態／Course Type	講義／Lecture
授業実施方法／Class format	対面授業／Face-to-face classes only
科目ナンバリング／Course Numbering	ANA331-50j00
レベル／Level	300
教員表示名	小塩 和人
担当教員名／Instructor	小塩 和人／OSHIO KAZUTO
単位数／Credits	2
更新日／Date of renewal	2025/02/28

講義概要情報／Course description

キーワード／Keywords	Global United States History グローバル アメリカ 歴史
科目サブタイトル／Subtitle of this course	A Global Approach to U.S. History
アクティブ・ラーニングの実施／Active Learning	あり／Yes
授業の概要／Course description	歴史＝「(不変の) 事実」の暗記と考えていませんか？この授業では、アメリカ合衆国の歴史を例に、まずは「(可変の) 解釈」(つまり意味づけ) のおおまかな流れを総括し、その上で各時代の具体的事例を取り上げます。とくに元・現大統領が「アメリカ・ファースト！」と絶叫して世界から孤立する姿勢を見せていますが、合衆国史も世界から切り離される(ともすれば愛国主義的な) 傾向にあったのです。こうした潮流を8つの事例を取り上げて、批判的に考えていきましょう。その背景として、まずは下の添付ファイル(ch0.pdf) に目を通しておくことをお勧めします。
ディプロマ・ポリシー(DP)との関連(対応するポリシーは、科目開講元のポリシーである。借入れ科目の場合は、カリキュラムマップを参照のこと)／Correspondence to Diploma Policy of the offering Faculty and	

Department (Students who belong to other faculties and departments, check Curriculum Map of your faculty and department)	
到達目標(授業の目標)／Course objectives	本授業のテーマならびに達成目標は、異文化理解の一環として、英語圏諸国の中で最も大きな影響力をもつアメリカ合衆国史の400年を例に取り、その歴史的变化をトピック毎に理解していくことにあります。なかでもテキスト講読・要約さらには発表・議論といった思考力・判断力・表現力を磨く作業を進めていきます。
授業時間外(予習・復習等)の学習／Expected work outside of class	英語で書かれた学術書籍(America on the World Stage, UIP, 2008)を使い、授業前に予め読み、その要約をまとめます。授業中は講義と共に講読文献の内容に基づいて予め与えられた設問に基づいてグループディスカッションを行ない、担当を決めて発表者ないしはコメンテーターとしてやり取りをします。そして学期末に向けて英語で小論文を書きます。
授業1回あたりの授業時間外(予習・復習等)の学習時間／Length of time for work expected outside per class	授業の予習・復習たとえば教材の読解、事前課題、グループ作業などを含んで190分程度を想定しています。
他学部・他研究科受講可否／Other departments' students	可／Yes ※要覧記載の履修対象とする年次を確認すること。 Please make sure to confirm the student year listed in the bulletin.
評価基準・割合／Evaluation	その他／Others(in detail) (100.0%) : 授業前要約と中間整理(40%) 授業参加とリアベ(30%) アウトラインと小論文(30%)
テキスト(教科書)／Textbook	自由記述／Free Text : ムードル(PWは初回に提示します)で課題の講読や提出を全て行う予定です。4分の3の授業参加が求められ、欠席の際にはご一報願います。
参考書／Readings	自由記述／Free Text : Teaching American History in a Global Context, eds. Carl Guarneri and James Davis. New York: Routledge, 2008.
添付ファイル／attachments	ch0.pdf

講義スケジュール／Schedule

授業計画／Class schedule	1.はじめに(概要・目標・評価)
	2.米国史研究と世界(Bender, pp.33-34)
	3.事例(1)独立宣言と世界(pp.18-25)
	4.事例(2)奴隷制度と世界(p.36-44)
	5.事例(3)南北戦争と世界(pp.126-134)
	6.事例(4)人口移動と世界(pp.170-177)
	7.中間整理(1)
	8.事例(5)人種問題と世界((pp.218-225)
	9.事例(6)大衆文化と世界(pp.238-248)
	10.事例(7)女性労働と世界(pp.262-268)
	11.事例(8)冷戦外交と世界(pp.278-286)
	12.中間整理(2)
	13.論文アウトライン検討会(detailed outline提出)
	14.おわりに(1500 words paper + course reflection提出)
課題等に対するフィードバック方法／Mediums for feedback to students	口頭で行う／verbally 提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers